

まえがき

文部省登山研修所は、昭和42年6月1日に富山県中新川郡立山町芦峯寺ブナ坂に設置され、同年7月1日に開所式を挙げてから、今年で50周年を迎えることになりました。このため、11月26日に節目となる50周年記念式典の開催を予定しておりその準備を進めているところです。併せて50年間の研修所の歩みをまとめた記念誌の作成に取りかかっているところです。

登山研修所は開所当初の「文部省登山研修所」が平成13年1月の中央省庁再編によって「文部科学省登山研修所」へ、さらに平成21年4月には独立行政法人日本スポーツ振興センターへの移管に伴って「国立登山研修所」と名称こそ変わりましたが、一貫して、登山指導者養成のための研修事業や登山に関する情報の提供等を通じて我が国の登山の健全発展に努めてまいりました。

この「登山研修」も情報提供の大きな柱の一つとして、昭和60年（1985）10月にVol.1を刊行して以来、毎年編集・発行しているもので今回が第32号となります。巻末にある既刊一覧にあるように、多くの講師や研究者の皆様などに執筆いただき、他の山岳雑誌にはないジャンルのもとなっており、その内容は研修会講師をはじめ、山岳関係者等の皆様方から高い評価を得ているところです。

今回も、「2020東京オリンピック」の追加種目となったスポーツクライミングに関する取り組みと課題や御嶽山の火山災害に関する情報提供などの他に、海外登山記録の紹介など最新の調査研究や登山情報が掲載されています。より多くの皆様に読んでいただき、様々な形態の登山活動をより楽しくより安全に実践していただきたいと思います。

末筆になりましたが、お多用中にもかかわらず玉稿をお寄せいただきました執筆者の方々並びに編集委員の皆様には厚くお礼を申し上げます。また、開所50周年を節目としてさらに研修会事業や情報提供などを充実・発展させたいと考えていますので、ご協力・ご支援をお願い申し上げます。

平成29年3月

国立登山研修所長 宮 崎 豊